



報告の
枠を
報告

科学的根拠に
基づいた目標による
パフォーマンスの改善

炭素目標の整合性

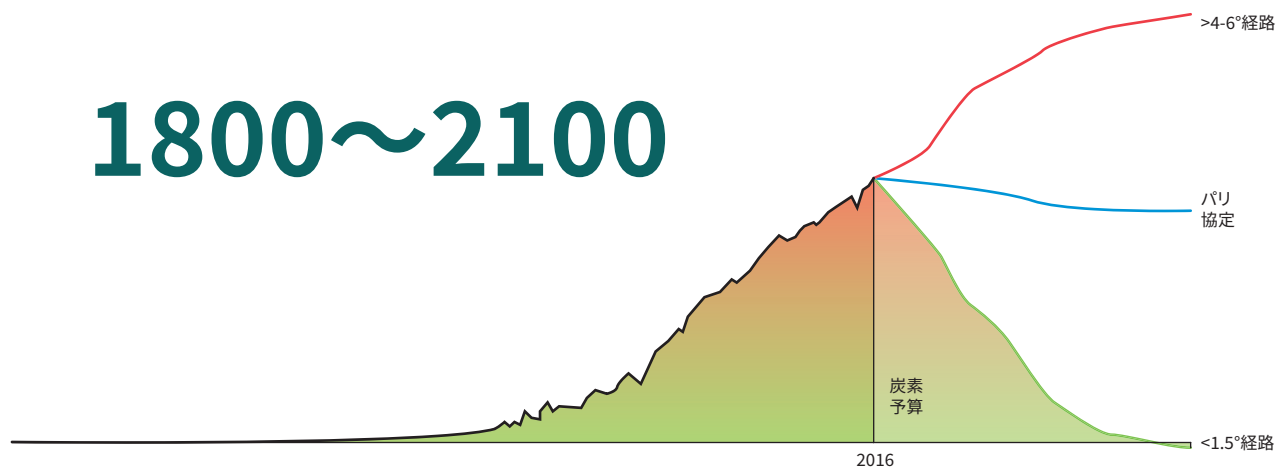
問題

現在、今世紀末までに地球の気温が4~5°C上昇する軌道に乗っており、これはビジネス、人々、地球にとって大惨事となることがわかっています。

気候科学者は、地球温暖化を1.5°C以下に抑えるためには、2017年以降の人為的総排出量を7000億トン以下に抑えなければならないことがはっきりしています。貴社が排出量削減目標をこのグローバルな炭素予算に合わせて調整することで、気候変動の最悪影響を防ぐのを支援できます。



1800~2100



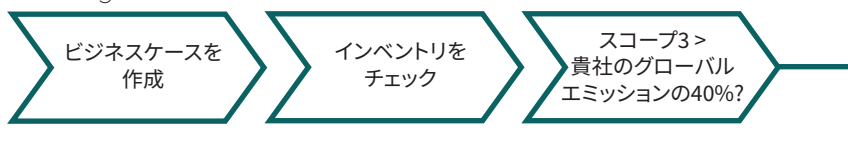
目標を科学に基づいたものにするには？

目標が、産業革命以前に比べ、地球の気温上昇を1.5°C以下に抑えるために必要な脱炭素化のレベルに沿ったものであれば、それは科学的根拠があると言えます。企業は、セクター別脱炭素化アプローチ、絶対ベースアプローチ、経済ベースアプローチの3つのアプローチから選択して、目標設定を行うことができます。

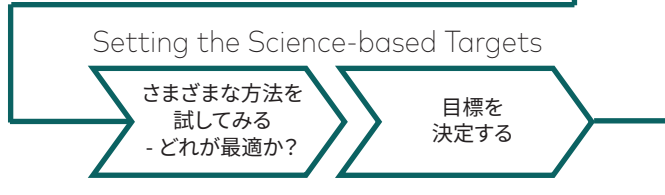


SBTプロセス

Getting Started



Setting the Science-based Targets



Announcing and Implementing



今すぐ始めましょう!



レビュー

どのようなデータ入力が必要なのか、どうやってデータを収集するのかを決定します。各の目標設定方法を理解し、貴社のセクターと利用可能なデータから最適な方法を選択します。



分析

SBTの要件に照らして成長を予測し、科学的根拠に基づくシナリオと通常通りのビジネスのギャップを評価します。実現可能性の評価: その目標は達成可能なものですか? 削減の機会を特定します。



目標

影響をモデル化し、それを達成するための選択肢を評価します。目標にコミットし、削減の取り組みを確立します。

科学的根拠に基づく目標設定アプローチ



絶対ベースアプローチ

- ✓ シンプル
- ✓ 堅牢
- X 組織的変更



セクターベースアプローチ

- ✓ 均一的な製品(鋼鉄、セメントなど)の製造業者に適している
- X 一部のセクターは未開発



経済ベースアプローチ

- ✓ 業務活動が多様な企業に最適
- X 向上心が足りない

違いを生む

科学的根拠に基づく目標を設定することで、世界的な二酸化炭素排出量の削減に向けた企業目標設定にあたってその信頼性を高めることができます。会社が達成できている目標を設定するのではなく、達成すべき目標を考えるよう圧力がかかっています。気候科学は、どのくらい高い目標を設定すれば十分なのかを伝えています。この客観的なベンチマークは、投資家の安心感と利害関係者間における貴社の評判の両方を強化します。

気候変動は、企業や経済に迫る世界最大のリスクとして頻繁に挙げられています。科学的根拠に基づく目標を設定することで、気候変動に伴うリスクを最小化し、企業が収益を上げることができます。

必要な入力

- 基準年度
- 基準年度の世界的な排出量の総合インベントリ
- 基準年度(生産、経済生産など)に実施される活動
- 目標年度
- 長期成長予測
- 排出量の範囲

次のステップ

あらゆるセクターの企業にとって、今すぐ行動を起こすべき説得力のあるビジネスケースがあります。記者にとっての科学的根拠に基づく目標どのようなものであるかを見極め、それにコミットする準備ができているかどうか評価します。気候変動のリスクが事業運営に与える影響を理解することで、二酸化炭素やエネルギーの削減の規模と意欲を高め、持続可能性の指標を事業戦略に合わせ、明確で意欲的な目標を持って周囲に影響を与えることができます。



www.shera.com

詳細については、
<https://sphera.com/contact-us>までお問い合わせください。

©2020 Sphera. 無断転載禁止。

Spheraについて

Spheraは、環境・衛生・安全(EHS)、運用リスク管理、プロダクトセキュリティに重点を置く統合されたリスク管理ソフトウェアと情報サービスの世界的な大手プロバイダーです。Spheraは、30年以上にわたりオペレーショナルエクセレンス(Opex)の発展に取り組み、より安全で持続可能で生産性の高い世界を創造するために、世界中の企業や顧客にサービスを提供しています。